

日時：2024年10月31日（木）午前

場所：広島県立教育センター

研修内容：広島県立教育センター（不登校支援センター）訪問

講師：熊野 めぐみ先生、久保 紗和子先生

概要：

研修員は広島県教育センターを訪問し、施設内見学と教員研修や特別支援教育についての説明を受けました。このセンターは、教職員の資質、能力の向上や学校機能の強化を目的とした研修や研究事業を実施している施設です。研修員からの質疑応答では教員の研修内容についての質問が多く、日本の研修制度に対する関心が高かったことが伺えました。



日時：2024年10月31日（木）午後

場所：広島大学

研修内容：How We Realize Ideal Learning Improvement について

講師：日下部 達哉先生（広島大学 教育開発国際協力研究センター 副センター長・教授）

概要：

講義では、日下部教授が途上国4カ国（インドネシア、バングラデシュ、南アフリカ、エチオピア）における教育開発の事例を紹介し、教育の質向上のための具体的な取り組みを説明しました。例えば、バングラデシュではガロ族を対象に座席配置を工夫したピアチュータリングの導入実践や、南アフリカにおける生徒の学習効果向上や保護者の教育への関心を高めるためのホームワークプロジェクトについて紹介がありました。質疑応答では、研修員から教育の質の定義や、教育に関心のない親をいかに巻き込むかなど実務的な質問が多く寄せられ、活発な議論が行われました。参加者は講義を通じて教育の質を向上させるための実践的な取り組み事例を学び、自国での実践にどう活かすかを考える貴重な機会となりました。

